

千年の森便り No.136

2014.11.20

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

11月16日(日) 晴

参加は鶴沢、苅米、久我夫妻、栗山、根本、福島、藤川、降幡、真鍋、村野、山口の会員に、地元君津の河野さんと東京碑文谷の吉澤さんが秋のキノコ観察会で豊英島に魅せられて参加され、総勢14名。午前中は全員



空は高く青く澄み

で島を一周して植物やキノコや野鳥を観察しながら、秋の自然観察、午後は倒木の処理、マダケの除伐、野鳥の巣箱点

検手入れなどに精を出し、最後に新入会藤川さん、体験参加の河野さん・吉澤さんの自己紹介に続き、参加全員の自己紹介などのミーティングを行いました。上空は青く澄み、色づき始めた森のすがすがしい空気の中で、皆快い汗を流し、楽しい森の一日でした。(真鍋)



○秋の自然観察

午前中の活動として、自然観察会(冒険コース)を行いました。参加は、新会員の藤川さん、体験参加の河野さん、吉澤さんとベテラン組数名です。ルートは、千年広場から吊り橋に向かい、吊り橋の下から祠山、禁断の岬、入り江を回って千年広場に戻るルートです。途中で見つけた植物、きのこを観察し、野鳥の声を聞きながら、また、途中の植生保護柵の状況を確認しながら秋の豊英島を楽しみました。

植物では、シロダモ、ヒイラギ、カンアオイ、イズノシマダイモンジソウが開花しており、ミヤマシキミとシロダモの赤い実が目立っていました。イズノシマダイモンジソウは北側の崖下で複数の株が開花していました。紅葉は、イロハモミジとヤマウルシの一部が色づいていました。

きのこは、キチチタケ、シイタケ、ホコリタケ、ナラタケなど(詳しくは降旗さんの記事参照)が観察できました。野鳥については別記します。ご参加の皆さん、お疲れさまでした。(福島)



イロハモミジは色づいて



禁断の岬-冒険コースは慎重に



ヒイラギの花 11/16 福島



シロダモの花 11/16 栗山



イズノシマダイモンジソウ福島



ミヤマシキミの実 11/16 吉澤

(その他の植物) 9月から搜索していたクロヤツシロランは30~40センチに伸び、蒴果から種子を飛ばしており、巨木林のあちこちに生育していることがわかりました。手分けして株に竹串を刺しましたが、10月か

らの累計で少なくとも50株以上あります。昨年の密生地には少ないことから、自生地は年により移動している可能性があります。5年前に見つかったホテイ岬には見当たりませんでした。

秋にブルーベリーよりも美味しい実をつけるはずのシャシャンボは、僅かにあった実が落下したのか、赤い小さい実を1個残すのみでした。来年から花と実を沢山つけるよう樹冠を覆うイヌツゲを伐採していただきました。来年こそ花と実に期待しましょう。1個残っていた紅い実を久我則子さんが食してみて酸っぱかったとのことですが、濃紺か濃い紫に熟すれば美味しいのかどうか来年の楽しみです。(真鍋)

○キノコ記録

確認されたキノコは14種、キシメジ科では「ムラサキシメジ、ナラタケ、モリノカレバタケ属、キシメジ属」、ヒラタケ科「シイタケ(栽培)」、ベニタケ科「アカモミタケ、キチチタケ、ベニタケ属」、イッポンシメジ科「クサウラベニタケ」、モエギタケ科「ニガクリタケ」、フウセンタケ科「フウセンタケ属+SP」、ホコリタケ科「ホコリタケ、ノウタケ」でした。



ナラタケ 11/16 真鍋

豊英島のキノコの発生状況は、最盛期と比べるとだんだん少なくなってきていますが、これから冬にかけて、ヒラタケやエノキタケなども期待できるかもしれません。また、清和の山の中では、天然?ナメコなども確認できましたので、豊英島でも、天然ナメコなども生えるかもしれませんね。これから厳しい季節になってきますが、12月には紅葉の最盛期、冬のキノコと続いてきますので、これからも目が離せない豊英島ですね。(降幡)

○野鳥記録

トビ(V&C)、ヒヨドリ(C)、エナガ(V&C)、シジュウカラ(V&C)、ヤマガラ(V&C)、コゲラ(C)、ホシハジロ(V、湖面に12)シジュウカラ、エナガ、コゲラは混群。



ヤマガラ(11/16 吉澤)

ヤマガラは、吉澤さんが観察・撮影、栗山さんが声を聞きました。ホシハジロは、帰りに吊り橋の上から観察できました。(福島)



ホシハジロ(11/16 福島)

(Vは視認、Cは声を確認したもの。)

○ホテイチク林危険木処理

10月の大型台風で、豊英島の木々は至る所で枝が折れていました。ホテイチク林の保護ネットの中にある、大きなコナラが高い所で折れて枝が垂れ下がっていました。保護柵は既に損傷し、落下すれば人身事故にもなります。苅米さんの見事なチェーンソーさばきで、木を倒して垂れ下がった枝を取り除く事ができました。柵外の折れた中径木も処理しました。保護柵の支柱が一部折れているほか、木の一部が、掛り木になっているので、次回の活動日にロープを使って処理し、保護柵も修復します。(久我哲也)



名人も苦戦の難しい危険木処理

○マダケの除伐

ホテイチク保護柵内に侵入したマダケやマダケ保護柵外のマダケの除伐を行いました。ホテイチク保護柵内に侵入したマダケがまだ相当数残っているので、ホテイチク保護のため次回もマダケ除伐を行い、終了後に保護柵を閉じます。(真鍋)

○巣箱の点検

巣箱点検調査をしました。村野さんと二人で、取り付け場所が確認できた9個について点検しました。内訳は小鳥用5個、オシドリ用3個、セキレイ用1個です。小鳥用に山苔で作られた営巣跡が2個、木の葉を巣箱の半分程詰め込んだものが1個、オシドリ用の巣箱の一つに、営巣跡は無いものの干乾びた柿の実が一個入っていました。他に営巣跡は有りませんでした。枯れたヤマザクラの幹に取り付けた巣箱は、蟻が入り込んでいたのでコナラの幹に付け替えました。点検した全ての巣箱は綺麗に掃除し、日付と番号を付記、来季の営巣を祈願して掛け直しをしました。(根本)



巣箱を取り外し点検手入れ

○物置小屋の整理

千年広場のシンボリックなブルーシート物置小屋は、雨漏れがあり2重に覆われたシートには雨水が溜まっていました。その雨水を捨て、棚の上に保管されていたダンボールは濡れて、中にはライフジャケットがあったので、風に当てて乾かしました。救急箱は、中の薬品を全部新しい物に入れ替えました。(久我則子)

40年ぶりの豊英湖

君津市 藤川英生会員

君津製鐵所勤務時代以来40年ぶりの豊英湖訪問でしたが、久我代表ご夫妻、福島さん、真鍋さんなど多士済々の会員のご案内で、地元君津の良さを改めて認識させていただきました。四国八十八ヶ所遍路道、関東ふれあいの道(1都6県)、東海自然歩道などを歩いてきましたが、ちば千年の森をつくる会に入会して、自然をゆっくり、じっくり観察する活動に参加させていただき、今までと違った楽しみを得ることができ大変喜んでおります。

また、立派な「千年の森便り」や「豊英島の自然」を読ませていただくことにより、生まれ故郷の島根で、塩漬けにした黒い「コウダケ」を寒い冬に美味しく頂いたことを思い出しております。今後の活動参加を楽しみにしております。

貴重な体験もりだくさんの楽しい一日

東京都目黒区 吉澤咲子

先月に引き続き今回もリフレッシュ、そしてスリリングな冒険ツアー体験、午後はマダケ除伐など森の整備のお手伝いと、これまた貴重な体験もりだくさんの、楽しい一日を過ごすことができました。青空の下、みなさんと一緒に食べるお昼ごはんのひとは格別ですね。ありがとうございました。また来月、楽しみにしています。

(編集者注: 吉澤さんはこの日素晴らしい画像を沢山撮影し提供いただきましたので一部をここに紹介します。)



お知らせ

○12月活動日

12月14日(日) 9時30分県民の森駐車場集合、ニホンジカ調査、巨木林成長量調査、野鳥調査、マダケ除伐、危険木処理、保護柵補修など計画しています。奮ってご参加ください。